

ワンマン運転拡大により 五つの運輸区職場の 車掌を合わせて 80人の削減！！

前代未聞の大合理化反対！！

4月23日、名古屋地本は東海鉄事と「2025年度要員計画について」の業務委員会を行いました。

その中で会社は、飯田線におけるワンマン運転の実施列車の拡大(中部天竜～天竜峡間)に伴い、豊橋運輸区及び伊那松島運輸区所属の車掌を合わせて40人程度削減する事と、関西本線及び武豊線において315系4両編成でのワンマン運転の実施に伴い、名古屋運輸区、亀山運輸区、伊勢運輸区所属の車掌を合わせて40人程度削減する旨の要員計画を提示してきました。また、亀山運輸区においては、車掌職種自体の配置はなくなる見込みとしています。

なんと、五つの運輸区職場の車掌を合わせて80人をも削減するということです。

JR東海発足以降、かつて無い大削減案に対して私たち東海労は断固反対します！

そもそも私たちは、ワンマン運転そのものに反対であり、ましてやこれ以上のワンマン運転の拡大などもってのほかです。いくら設備が改善されようと、最後は人間が安全を守るのです。

『前棒(まえぼう)である運転士からすれば、
後棒(あとぼう)である車掌は何よりも安全の要』なんです。

人減らしは安全の崩壊に突き進みます。
職場から反対の声を挙げていきましょう！